

**第47回**

# **相模原クラブ対抗スキー大会**



**期日 平成25年3月15日から3月17日**

**場所 戸隠高原スキー場**

**本部 民宿「てらまち」TEL0262(54)2457**

**主催 相模原市スキー協会**

**後援 (財)相模原市体育協会**

## 大会日程

日程	時刻	内 容
3月15日(金)	13:30	役員集合(シャルマン) スキー場へあいさつ 大会準備
	20:00	代表者会議(てらまち)
3月16日(土)	7:45	役員集合(シャルマン)
	8:00	選手受付(シャルマン)
	8:30	開会式(シャルマン裏側ゲレンデ)
	9:10	大回転インスペクション
	9:45	大回転競技開始
	13:30	役員・選手集合(ノル会場)
	14:00	ノルディック競技開始
	15:30	競技終了予定
	15:40	大回転表彰式(ノル会場)
	20:00	代表者会議(てらまち)
3月17日(日)	7:45	役員集合(シャルマン)
	8:45	回転インスペクション
	9:20	回転競技開始
	13:00	閉会式及び表彰式(シャルマン裏側ゲレンデ) 機材撤収

※1 大会スケジュールは天候及び進行状況等により変更される場合があります。

### 開会式次第

- 1 開会のことば
- 2 優勝杯返還
- 3 主催者あいさつ
- 4 来賓紹介
- 5 競技運営についての諸注意
- 6 選手宣誓
- 7 庶務連絡

### 閉会式次第

- 1 成績発表及び表彰式
- 2 主催者あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 技術代表講評
- 5 庶務連絡
- 6 閉会のことば

## 第47回 相模原市クラブ対抗スキー大会開催要領

### 1. 競 技

- (イ) クラブ対抗は、団体戦とし競技はアルペン競技（大回転・回転）、継走競技（男子の部1チーム4名、女子の部1チーム3名）を行う。
- (ロ) 当大会は、SAJ競技規定及び理事会の申し合わせに準じて行う。

### 2. 参加資格

相模原市スキー協会登録者（SAJ個人登録者）であること。  
但し、SAJ未登録のクラブ員は、SAJに追加登録することで参加できる。

### 3. 参加料

アルペン競技 1種目 1,500円  
継走競技 1チーム 1,500円

### 4. 組 別

スタート順	組別	年齢	生年月日
1	男子F	70才以上	～1942年4月1日
2	女子D	50才以上	～1962年4月1日
3	女子C	40～49	1962年4月2日～1972年4月1日
4	小学生男子	小学生以下	2000年4月2日～2006年4月1日
5	小学生女子	小学生以下	2000年4月2日～2006年4月1日
6	男子E	60～69	1942年4月2日～1952年4月1日
7	男子D2	55～59	1952年4月2日～1957年4月1日
8	男子D1	50～54	1957年4月2日～1962年4月1日
9	女子B	30～39	1972年4月2日～1982年4月1日
10	少年女子	中・高校生	1994年4月2日～2000年4月1日
11	少年	中・高校生	1994年4月2日～2000年4月1日
12	女子A	18～29	1982年4月2日～1994年4月1日
13	男子C2	45～49	1962年4月2日～1967年4月1日
14	男子C1	40～44	1967年4月2日～1972年4月1日
15	男子B2	35～39	1972年4月2日～1977年4月1日
16	男子B1	30～34	1977年4月2日～1982年4月1日
17	男子A	18～29	1982年4月2日～1994年4月1日

- ※ アルペン競技及び距離競技の組別年齢算定は平成24年4月1日現在とする。  
但し、少年女子及び少年については申し込み時点で在学又は年齢相当とする。  
※ 継走競技の年齢制限はありません。

## 5. スタート順

- (イ) アルペン競技の組別スタート順は、前表の順で行う。
- (ロ) 各組のスタート順は、アルペン競技第1シード、第2シード、第3シードのゼッケン番号順に行う。
- (ハ) 各クラブより1名ずつ選出された第1シード、第2シードの選手のスタートは、シードごとにドロース。
- (ニ) アルペン競技の第3シードは人数の制限はなく、そのスタート順は、生年月日の早いものからとする。
- (ホ) 継走は同時スタートとし、タッチは身体とし使用スキーは自由とする。  
走法は全区間フリーとし、スタートとタッチゾーンは別に定める。  
ゼッケンは、男子は、第1走者は赤、第2走者は緑、第3走者は黄、第4走者は青を着用する。  
女子は、第1走者は緑、第2走者は黄、第3走者は青を着用する。

## 6. 得点

- (イ) 総合得点は、アルペン競技に出走した選手に限り各種目ごと0.5点ずつ与えられる参加点とアルペン競技の各種目各クラス成績に応じて与えられる競技点と継走の奨励点を合計する。
- (ロ) 競技点は、アルペン競技の各種目の各組ごとに、1位10点、2位9点、3位8点……以下1点差とし10位1点までとする。なお、同順位による得点の按分は行わない。
- (ハ) 同一組に1クラブ3名以上の得点者がある場合は、上位2名のみ競技点を与え、それ以外の者は阻止点とする。但し、得点とならなかった者の順位へ次位の者の順位繰上げは行わず、個人の入賞は有効とする。
- (ニ) 継走（男子・女子）の競技点は、継走出走クラブ数×2が1位クラブの得点とし、以下2点ずつ減点する。  
競技点は、各クラブ参加チーム数に関係なくクラブ内の最上位1チームを対象とし上位より得点を与える。  
同一クラブに複数の得点チームがある場合は最上位チームのみ競技点を与え、以下のチームは阻止点なる。但し、チームの順位へ次位のチームの順位繰上げは行わずチームの入賞は有効とする。  
競技点が与えられなかったチームには、奨励点男子2点、女子1.5点を与える。
- (ホ) 継走競技において、同一クラブで1チームが編成できない場合は、同一競技者が2区間競技（連続は不可）することによりチーム編成が可能な場合に限り、1クラブ1チームの参加を認める。  
但し、競技点の対象となるため、代表者会議等での承認が前提条件である。  
継走競技のクラブ間混成チームについては、オープン参加とし競技点は認めず競技者各々のクラブに奨励点を按分し与える。

## 7. 表彰

団体は、6位まで表彰する。

アルペン競技及び継走競技は次による。

エントリー人数（チーム数）10名未満は3位まで表彰する。

エントリー人数（チーム数）10名以上15名未満は4位まで表彰する。

エントリー人数（チーム数）15名以上20名未満は5位まで表彰する。

エントリー人数（チーム数）20名以上は6位まで表彰する。

小学生以下男子及び女子のクラスについて低学年（3年生以下）については表彰のみを男女混合で上記の表彰規定に基づき表彰を行う。

継走競技については、区間賞を設ける。

## 8. 申し込み方法

協会より各クラブ宛に電子データを送り、そのクラブ対抗申込書のデータに、協会登録番号（SAJ登録番号）、住所、氏名（ふりがな）、生年月日、シード、エントリー種目等入力し、期日までにデータを提出すること。次の理事会にて印刷したデータ（団体申込書）及び参加料を添えて申し込みを行う。

## 9. 用具

アルペン競技のスキー板については長さ、ラディウス、プレートの高さ等の制限は規制しないが安全には十分に留意すること。

アルペン競技において、クラッシュヘルメット、背髄パッドの使用を推奨する。

特に、安全面を考慮しGS競技において使用するヘルメットについては出来る限り突起物の無い物とする。又、前腕部のプロテクターを装着する場合は前端側にポール、雪面に引っかからない処理を施すことが望ましい。

FIS規定以外の用具を使用するときは自己責任の上での使用とする。

## 10. その他

アルペンのスタート位置については、すべてのクラスで共通とする。

インスペクションのとき、保護者やコーチ等の付き添いが必要な場合はスタート審判に申し出て許可を得てからコース内に入る。

ジュニア、特に小学校低学年でまだ経験の少ない選手については、年末年始合宿で行われる「ジュニアスキー大会」に参加し、強化部にて判定し、クラブ対抗への参加可否を決める。（参加できない場合については別途、強化部にて検討する。）

並走者・伴走者は原則として認めない。

転倒し、競技運営上で支障をきたす場合は、ジュリーの判断により競技の中止を言い渡すことがある。

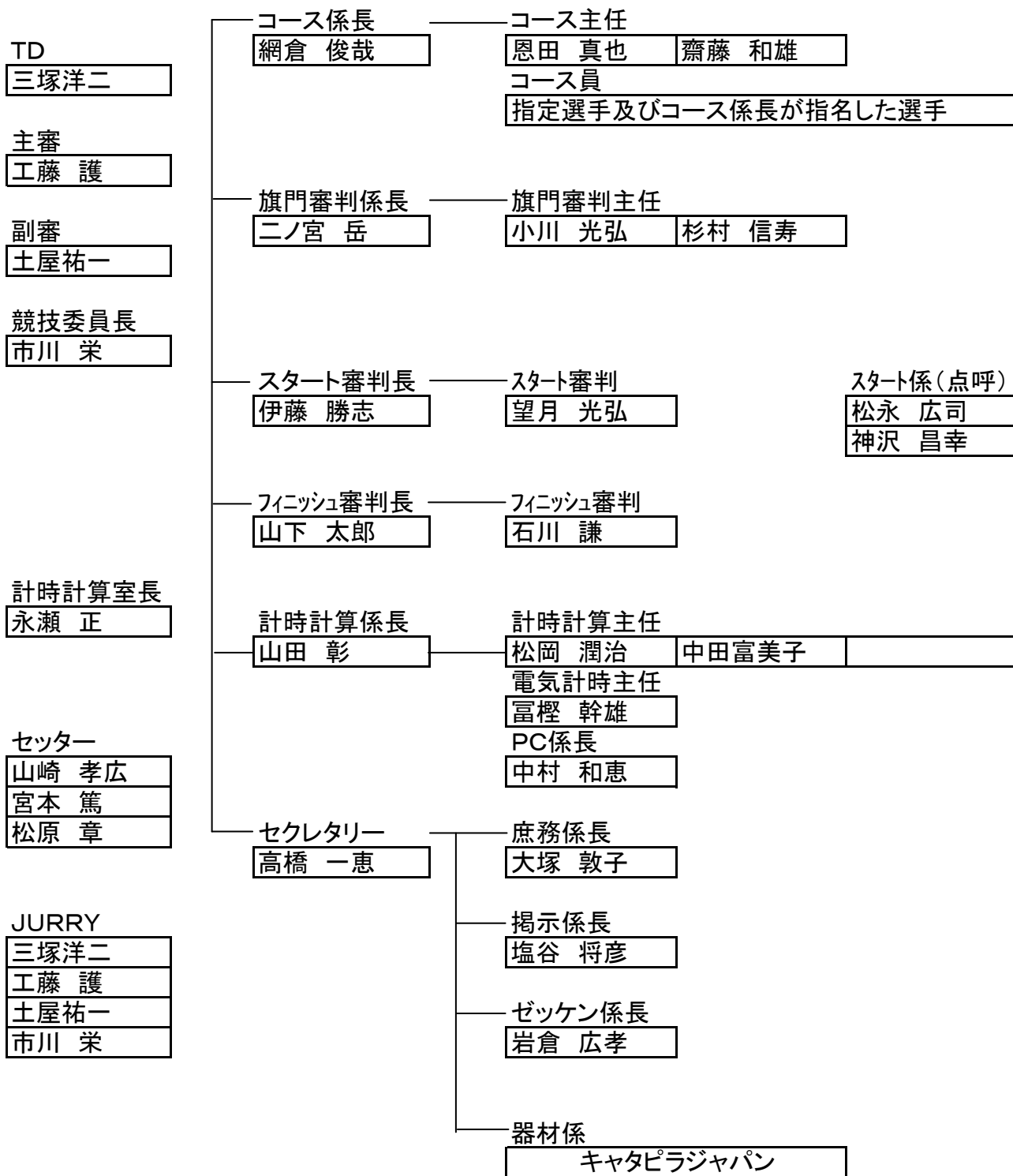
## 大会役員

大会会長	三塚康雄			
大会副会長	大川廣志	三塚洋二	門倉直行	
大会委員	小林幹夫	諏訪喜一	小林 茂	角田高一
	塚田 勉	岩崎義隆	徳田耕作	荒井一美
	古藤公昭	中森博文	木村信吉	松永広司
	石川信夫	太田 顕	岸谷圭亮	根本孝夫
	福田広章	長内 壽	篠崎正義	山蔭敬三
	小山正治	石川 謙		

## 競技役員

競技運営委員長	工藤 護			
競技運営副委員長	永瀬 正	土屋祐一		
競技運営委員	岡田良平	富樫幹雄	齋藤和雄	
	伊藤敏光	臼井精司		

# 大回転・回転競技



コース員	1	小林 幸子	小久保 美香	
	2	草野 桃子	田所 冬美	
	3	田所 雅	吉田 定善	
	4	廣瀬 勉	小川 光弘	
	5	小山 貴史	田所 広太	

# 継走競技

TD

伊藤 敏光

主審

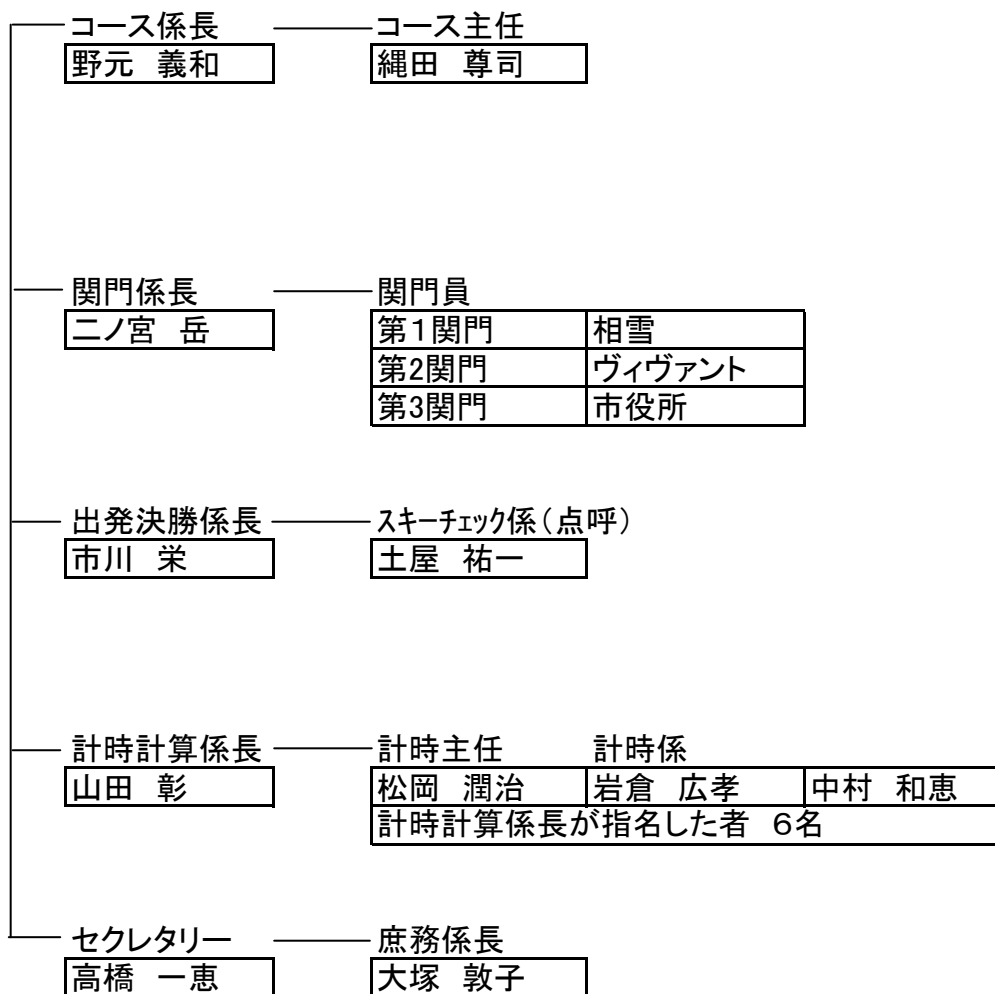
檜枝 啓介

副審

坂下 誠光

競技委員長

工藤 護



JURRY

伊藤 敏光

檜枝 啓介

坂下 誠光

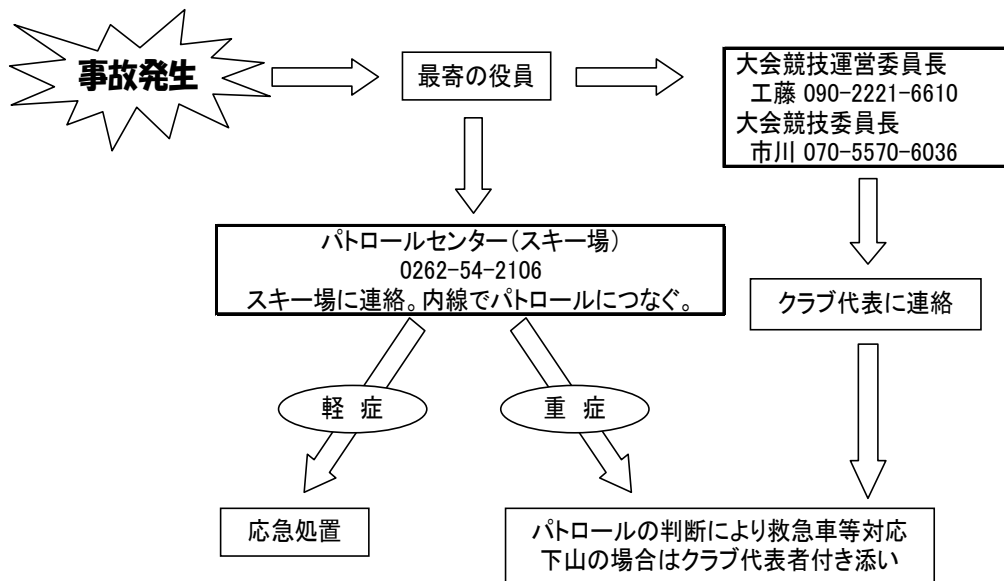
工藤 護



**参加クラブ宿泊先一覧**

クラブ名	監督 又は 責任者	宿泊先		参加 者数	継走 チーム数
		宿舎名	TEL		
山びこクラブ	今牧 宏志	広安	0262-54-2531	3	0
相雪スキークラブ	大木 誠	てらまち	0262-54-2457	30	3
昭和電線スキー部	堀江 政明	山本荘	0262-54-2265	3	0
NEC相模原スキー部	佐藤 智彦	石楠花ロッジ	0262-54-2082	11	3
ヴィヴァントスキークラブ	菊池 明彦	高妻ロッジ	0262-54-2230	31	5
キャタピラジャパンスキークラブ	檜枝 啓介	やまかね荘	0262-54-2232	2	1
スキークラブカメ	二ノ宮 岳	柏屋	0262-54-2168	18	5
市役所スキークラブ	富樫 幹雄	今井旅館	0262-54-2039	13	1
白銀スキークラブ	栄居 正樹	広安	0262-54-2531	4	1
ダックススキークラブ	松永 広司			3	0
東プレススキークラブ	村田 将一	大西旅館	0262-54-2040	3	0
SCスノーボード	岩倉 広孝	宮沢旅館	0262-54-2011	4	1
アガパススキークラブ	神沢 昌幸	宮沢旅館	0262-54-2011	13	1
8823 (ハヤブサ)	大川 廣志	山本荘	0262-54-2265	2	0
相模湖スキークラブ	中森 博文	石楠花ロッジ	0262-54-2082	3	0
SCサンタクロース	原島 雅義	とがくし屋	0262-54-2271	16	2
16 クラブ			合 計	159	23

**◎緊急連絡体制**



※夜間・移動時の緊急連絡は 工藤大会競技運営委員長へ連絡。

## 種目 大回転 総合タイム表

2013年3月16日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
1	1	山びこ	男子F	佐々木 正義			
2	1	白銀	男子F	金子 幸輔			
3	1	相雪	男子F	角田 高一			
4	2	相雪	男子F	古城 保和			
5	3	相雪	男子F	佐藤 富治			
6	1	サンタ	女子D	大塚 喜代子			
7	1	ヴィヴァント	女子D	秋山 幸子			
8	1	相雪	女子D	高橋 一恵			
9	1	アガペ	女子D	宮川 礼子			
10	2	ヴィヴァント	女子D	長池 紀子			
11	1	SCカメ	女子C	小林 幸子			
12	1	NEC	女子C	小久保 美香			
13	1	アガペ	女子C	岩倉 佐知子			
14	2	NEC	女子C	中田 富美子			
15	1	サンタ	女子小学生以下	小見 ちさと			
16	2	サンタ	女子小学生以下	高城 里菜			
17	3	サンタ	女子小学生以下	高城 美緒			
18	1	NEC	男子小学生以下	荻原 洸大			
19	1	相雪	男子小学生以下	土屋 龍太			
20	1	SCカメ	男子小学生以下	二ノ宮 陸			
21	1	市役所	男子小学生以下	遠藤 彬史			
22	1	アガペ	男子小学生以下	小林 健太郎			
23	2	アガペ	男子小学生以下	松岡 怜			
24	2	NEC	男子小学生以下	伊藤 光星			
25	3	NEC	男子小学生以下	伊藤 大星			
26	1	サンタ	男子E	臼井 精司			
27	1	相模湖	男子E	中森 博文			
28	1	SCカメ	男子E	石川 謙			
29	1	NEC	男子E	山蔭 敬三			
30	1	ハヤブサ	男子E	成田 俊昭			
31	1	ダックス	男子E	松永 広司			
32	1	相雪	男子E	三塚 康雄			
33	1	ヴィヴァント	男子E	松原 章			
34	2	サンタ	男子E	吉澤 利明			
35	2	ヴィヴァント	男子E	秋山 輝雄			
36	2	相雪	男子E	三塚 洋二			
37	3	サンタ	男子E	大塚 庸夫			
38	3	相雪	男子E	平賀 雅			
39	3	相雪	男子E	井上 健史			
40	3	ヴィヴァント	男子E	橋本 豊			

## 種目 大回転 総合タイム表

2013年3月16日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
41	1	ヴィヴァント	男子D2	長谷川 健次			
42	1	相模湖	男子D2	山崎 竜人			
43	1	スノーボード	男子D2	岩渕 一彦			
44	1	昭電	男子D2	堀江 政明			
45	1	山びこ	男子D2	今牧 宏志			
46	1	キャタ	男子D2	山根 功			
47	1	アガペ	男子D2	川島 輝久			
48	1	市役所	男子D2	齋藤 和雄			
49	2	市役所	男子D2	富樫 幹雄			
50	2	ヴィヴァント	男子D2	黒岩 尚志			
51	2	アガペ	男子D2	神沢 昌幸			
52	3	ヴィヴァント	男子D2	門倉 直行			
53	1	相雪	男子D1	工藤 護			
54	1	ヴィヴァント	男子D1	田所 雅			
55	1	サンタ	男子D1	杉村 信寿			
56	1	SCカメ	男子D1	桑原 伸			
57	1	市役所	男子D1	永瀬 正			
58	1	昭電	男子D1	山田 彰			
59	1	スノーボード	男子D1	岩倉 広孝			
60	1	NEC	男子D1	小林 研			
61	2	ヴィヴァント	男子D1	菊地 明彦			
62	2	市役所	男子D1	江成 慎一			
63	2	相雪	男子D1	佐藤 泰成			
64	3	相雪	男子D1	小林 隆二			
65	3	相雪	男子D1	望月 光弘			
66	1	ヴィヴァント	女子B	八木 里佳			
67	1	サンタ	女子B	伊藤 雅枝			
68	1	アガペ	女子B	小林 里香			
69	1	市役所	女子B	中村 和恵			
70	2	サンタ	女子B	大塚 敦子			
71	3	サンタ	女子B	高城 直美			
72	1	アガペ	少年女子	松岡 瑞季			
73	1	ヴィヴァント	少年女子	草野 桃子			
74	1	SCカメ	少年女子	二ノ宮 和			
75	2	ヴィヴァント	少年女子	荻原 希			
76	1	ヴィヴァント	少年	則武 紘嘉			
77	1	相雪	少年	三塚 雄登			
78	1	市役所	少年	遠藤 岳大			
79	1	SCカメ	少年	青木 智洋			
80	2	SCカメ	少年	加治佐 駿			

## 種目 大回転 総合タイム表

2013年3月16日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
81	2	相雪	少年	平賀 祥大			
82	3	相雪	少年	八木 啓太			
83	3	相雪	少年	中西 大成			
84	3	相雪	少年	望月 滉太			
85	3	相雪	少年	小林 廉			
86	3	相雪	少年	佐藤 匠			
87	1	SCカメ	女子A	高野 法子			
88	1	ヴィヴァント	女子A	田所 冬美			
89	1	市役所	女子A	辻井 真純			
90	3	ヴィヴァント	女子A	森 美波			
91	1	サンタ	男子C2	高城 修			
92	1	相雪	男子C2	渡 勝利			
93	1	白銀	男子C2	栄居 正樹			
94	1	ヴィヴァント	男子C2	鎌田 治			
95	1	SCカメ	男子C2	山崎 孝広			
96	1	NEC	男子C2	佐々木 浩			
97	1	東プレ	男子C2	田主 博之			
98	2	SCカメ	男子C2	吉田 定善			
99	2	ヴィヴァント	男子C2	米山 武志			
100	2	NEC	男子C2	伊藤 勝志			
101	3	ヴィヴァント	男子C2	佐藤 重幸			
102	3	ヴィヴァント	男子C2	荻原 守			
103	3	ヴィヴァント	男子C2	草野 太郎			
104	3	SCカメ	男子C2	近藤 浩道			
105	1	サンタ	男子C1	小見 昌義			
106	1	SCカメ	男子C1	二ノ宮 岳			
107	1	東プレ	男子C1	村田 将一			
108	1	スノーボード	男子C1	今井 和也			
109	1	NEC	男子C1	佐藤 智彦			
110	1	市役所	男子C1	遠藤 聡			
111	1	相雪	男子C1	宮本 篤			
112	1	ヴィヴァント	男子C1	網倉 俊哉			
113	1	相模湖	男子C1	所谷 雅史			
114	1	ダックス	男子C1	土屋 祐一			
115	1	アガペ	男子C1	高橋 智明			
116	1	白銀	男子C1	塩谷 将彦			
117	2	サンタ	男子C1	尾上 雅史			
118	2	相雪	男子C1	山下 太郎			
119	2	市役所	男子C1	市川 栄			
120	2	ヴィヴァント	男子C1	橘 香樹			

## 種目 大回転 総合タイム表

2013年3月16日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
121	2	SCカメ	男子C1	小川 光弘			
122	3	ヴィヴァント	男子C1	野口 学			
123	3	市役所	男子C1	廣瀬 勉			
124	1	サンタ	男子B2	北島 智和			
125	1	SCカメ	男子B2	恩田 真也			
126	1	相雪	男子B2	関 伸泰			
127	2	相雪	男子B2	大木 誠			
128	3	ダックス	男子B2	大江 徹			
129	1	SCカメ	男子B1	米澤 拓也			
130	1	ヴィヴァント	男子A	小山 貴史			
131	1	アガペ	男子A	宮川 和文			
132	1	サンタ	男子A	奥村 純平			
133	1	SCカメ	男子A	矢澤 宏一			
134	1	相雪	男子A	望月 雄太			
135	2	ヴィヴァント	男子A	田所 広太			
136	2	アガペ	男子A	金子 央樹			
137	3	ヴィヴァント	男子A	黒岩 顕太			
138	3	ヴィヴァント	男子A	小山 和伸			

## 種目 回転 総合タイム表

2013年3月17日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
1	1	白銀	男子F	金子 幸輔			
2	1	相雪	男子F	角田 高一			
3	1	山びこ	男子F	佐々木 正義			
4	2	相雪	男子F	古城 保和			
5	3	相雪	男子F	佐藤 富治			
6	1	アガペ	女子D	宮川 礼子			
7	1	相雪	女子D	高橋 一恵			
8	1	サンタ	女子D	大塚 喜代子			
9	1	ヴィヴァント	女子D	秋山 幸子			
10	2	ヴィヴァント	女子D	長池 紀子			
11	1	アガペ	女子C	岩倉 佐知子			
12	1	SCカメ	女子C	小林 幸子			
13	1	NEC	女子C	小久保 美香			
14	2	NEC	女子C	中田 富美子			
15	1	サンタ	女子小学生以下	小見 ちさと			
16	2	サンタ	女子小学生以下	高城 里菜			
17	3	サンタ	女子小学生以下	高城 美緒			
18	1	アガペ	男子小学生以下	小林 健太郎			
19	1	相雪	男子小学生以下	土屋 龍太			
20	1	市役所	男子小学生以下	遠藤 彬史			
21	1	SCカメ	男子小学生以下	二ノ宮 陸			
22	1	NEC	男子小学生以下	伊藤 光星			
23	2	アガペ	男子小学生以下	松岡 怜			
24	2	NEC	男子小学生以下	荻原 洸大			
25	3	NEC	男子小学生以下	伊藤 大星			
26	1	相模湖	男子E	中森 博文			
27	1	ヴィヴァント	男子E	松原 章			
28	1	NEC	男子E	山蔭 敬三			
29	1	ハヤブサ	男子E	成田 俊昭			
30	1	ダックス	男子E	松永 広司			
31	1	サンタ	男子E	臼井 精司			
32	1	SCカメ	男子E	石川 謙			
33	1	相雪	男子E	三塚 康雄			
34	2	サンタ	男子E	吉澤 利明			
35	2	ヴィヴァント	男子E	秋山 輝雄			
36	2	相雪	男子E	三塚 洋二			
37	3	サンタ	男子E	大塚 庸夫			
38	3	相雪	男子E	平賀 雅			
39	3	相雪	男子E	井上 健史			
40	3	ヴィヴァント	男子E	橋本 豊			

## 種目 回転 総合タイム表

2013年3月17日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
41	1	ヴィヴァント	男子D2	長谷川 健次			
42	1	アガペ	男子D2	川島 輝久			
43	1	山びこ	男子D2	今牧 宏志			
44	1	市役所	男子D2	富樫 幹雄			
45	1	相模湖	男子D2	山崎 竜人			
46	1	スノーボード	男子D2	岩渕 一彦			
47	1	キャタ	男子D2	山根 功			
48	1	昭電	男子D2	堀江 政明			
49	2	アガペ	男子D2	神沢 昌幸			
50	2	市役所	男子D2	齋藤 和雄			
51	2	ヴィヴァント	男子D2	黒岩 尚志			
52	3	ヴィヴァント	男子D2	門倉 直行			
53	1	相雪	男子D1	工藤 護			
54	1	サンタ	男子D1	杉村 信寿			
55	1	SCカメ	男子D1	桑原 伸			
56	1	市役所	男子D1	永瀬 正			
57	1	スノーボード	男子D1	岩倉 広孝			
58	1	NEC	男子D1	小林 研			
59	1	昭電	男子D1	山田 彰			
60	1	ヴィヴァント	男子D1	田所 雅			
61	2	相雪	男子D1	佐藤 泰成			
62	2	ヴィヴァント	男子D1	菊地 明彦			
63	2	市役所	男子D1	江成 慎一			
64	3	相雪	男子D1	小林 隆二			
65	3	相雪	男子D1	望月 光弘			
66	1	市役所	女子B	中村 和恵			
67	1	アガペ	女子B	小林 里香			
68	1	ヴィヴァント	女子B	八木 里佳			
69	1	サンタ	女子B	伊藤 雅枝			
70	2	サンタ	女子B	大塚 敦子			
71	3	サンタ	女子B	高城 直美			
72	1	SCカメ	少年女子	二ノ宮 和			
73	1	アガペ	少年女子	松岡 瑞季			
74	1	ヴィヴァント	少年女子	草野 桃子			
75	2	ヴィヴァント	少年女子	荻原 希			
76	1	SCカメ	少年	青木 智洋			
77	1	ヴィヴァント	少年	則武 紘嘉			
78	1	市役所	少年	遠藤 岳大			
79	1	相雪	少年	三塚 雄登			
80	2	SCカメ	少年	加治佐 駿			

## 種目 回 転 総合タイム表

2013年3月17日

ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
81	2	相雪	少年	平賀 祥大			
82	3	相雪	少年	八木 啓太			
83	3	相雪	少年	中西 大成			
84	3	相雪	少年	土屋 将虎			
85	3	相雪	少年	望月 滉太			
86	3	相雪	少年	小林 廉			
87	3	相雪	少年	佐藤 匠			
88	1	SCカメ	女子A	高野 法子			
89	1	市役所	女子A	辻井 真純			
90	1	ヴィヴァント	女子A	田所 冬美			
91	3	ヴィヴァント	女子A	森 美波			
92	1	SCカメ	男子C2	山崎 孝広			
93	1	サンタ	男子C2	高城 修			
94	1	NEC	男子C2	伊藤 勝志			
95	1	ヴィヴァント	男子C2	鎌田 治			
96	1	東プレ	男子C2	田主 博之			
97	1	相雪	男子C2	渡 勝利			
98	1	白銀	男子C2	栄居 正樹			
99	2	ヴィヴァント	男子C2	米山 武志			
100	2	SCカメ	男子C2	吉田 定善			
101	3	ヴィヴァント	男子C2	佐藤 重幸			
102	3	ヴィヴァント	男子C2	荻原 守			
103	3	ヴィヴァント	男子C2	草野 太郎			
104	3	SCカメ	男子C2	近藤 浩道			
105	1	サンタ	男子C1	小見 昌義			
106	1	相雪	男子C1	宮本 篤			
107	1	市役所	男子C1	廣瀬 勉			
108	1	アガペ	男子C1	高橋 智明			
109	1	相模湖	男子C1	所谷 雅史			
110	1	ヴィヴァント	男子C1	網倉 俊哉			
111	1	SCカメ	男子C1	二ノ宮 岳			
112	1	白銀	男子C1	塩谷 将彦			
113	1	NEC	男子C1	佐藤 智彦			
114	1	東プレ	男子C1	村田 将一			
115	1	ダックス	男子C1	土屋 祐一			
116	1	スノーボード	男子C1	今井 和也			
117	2	ヴィヴァント	男子C1	橘 香樹			
118	2	相雪	男子C1	山下 太郎			
119	2	SCカメ	男子C1	小川 光弘			
120	2	サンタ	男子C1	尾上 雅史			



## 種目 回転 総合タイム表

2013年3月17日

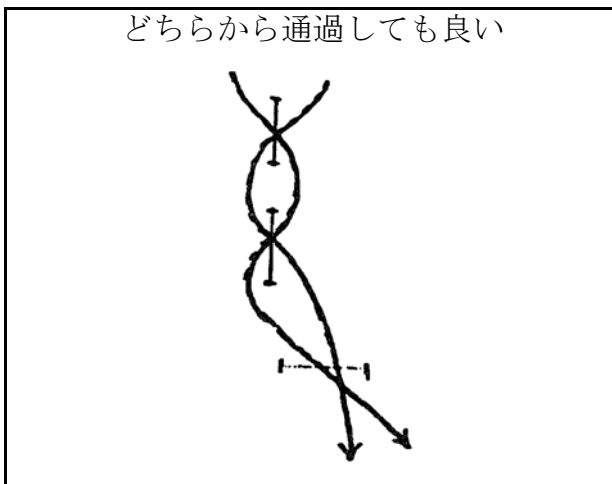
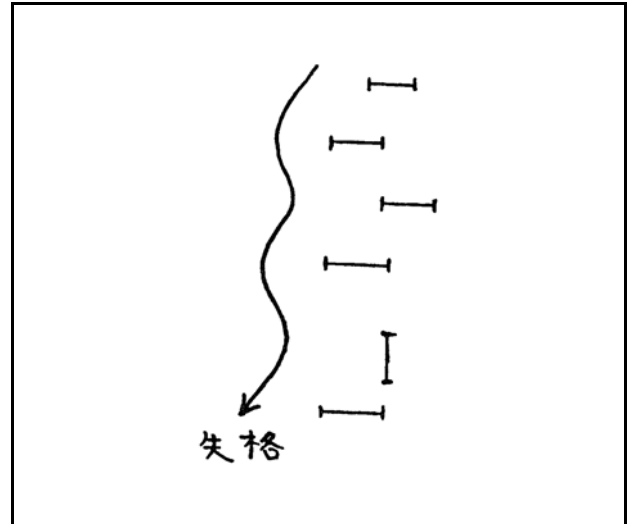
ビブ	シード	所属	クラス	氏名	0'.00"00 1本目タイム	0'.00"00 2本目タイム	0'.00"00 合計タイム
121	2	市役所	男子C1	市川 栄			
122	3	ヴィヴァント	男子C1	野口 学			
123	3	市役所	男子C1	遠藤 聡			
124	3	ヴィヴァント	男子C1	臼井 健治			
125	1	SCカメ	男子B2	恩田 真也			
126	1	相雪	男子B2	関 伸泰			
127	1	サンタ	男子B2	北島 智和			
128	2	相雪	男子B2	大木 誠			
129	3	ダックス	男子B2	大江 徹			
130	1	SCカメ	男子B1	米澤 拓也			
131	1	アガペ	男子A	宮川 和文			
132	1	SCカメ	男子A	矢澤 宏一			
133	1	ヴィヴァント	男子A	小山 貴史			
134	1	相雪	男子A	望月 雄太			
135	1	サンタ	男子A	奥村 純平			
136	2	ヴィヴァント	男子A	田所 広太			
137	2	アガペ	男子A	金子 央樹			
138	3	ヴィヴァント	男子A	黒岩 顕太			
139	3	ヴィヴァント	男子A	小山 和伸			

# 円滑な運営のために

## アルペン

### 〔選手の場合〕

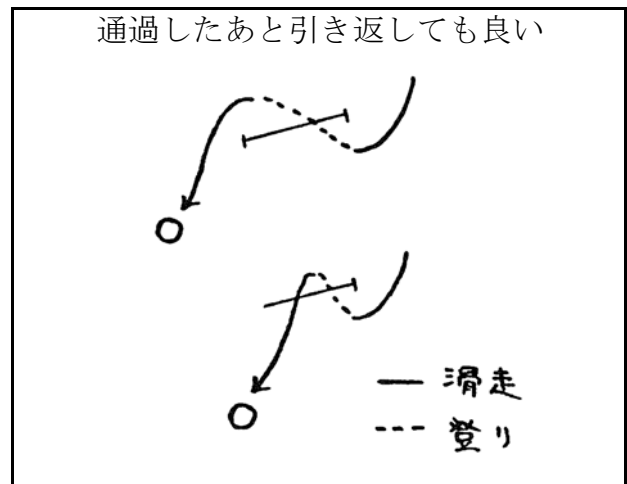
1. 本番の前にコースの下見をすることをインスペクションといいます。インスペクションを行う場合、選手は番号が見えるようにゼッケンを着用して下さい。
2. 大回転はジャイアント・スラローム又はG S Lともいい、競技者が上からスキーをつけてコースを見ながら、ゆっくり降りてくることは許されますが、旗門を通過したりコースの要求しているターンに似たターンの練習をした場合は失格となります。



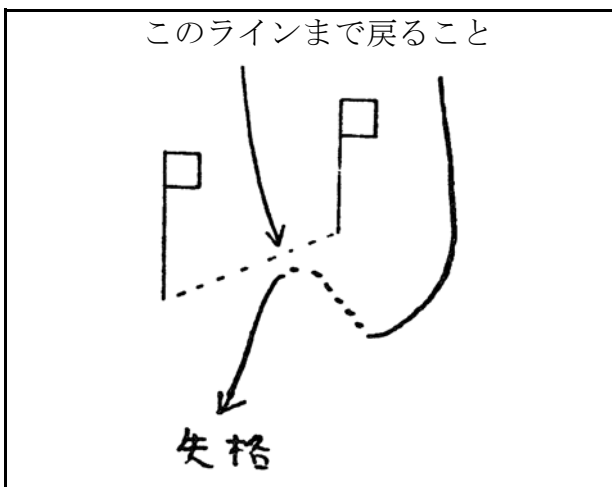
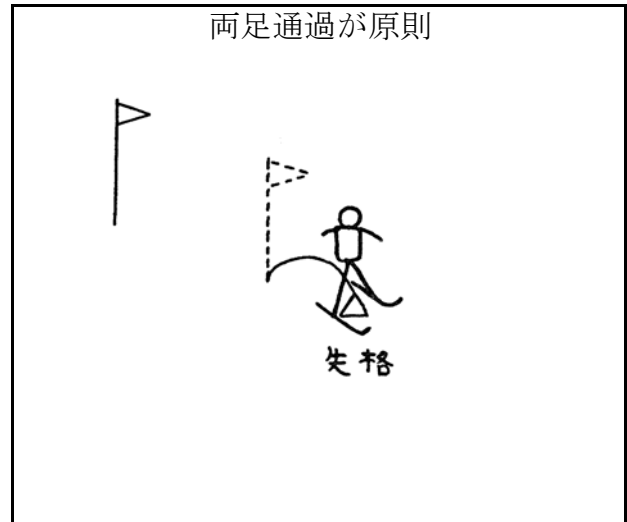
3. 回転はスラロームまたはS Lといい、インスペクションはコースをスキーで登ることは許されますが、スキーをつけて旗門を上から通過したり、コース付近を滑り降りると失格となります。

4. 旗門は上下左右どちらから入って通り抜けても構いません。一双のポールとポールを結んだ線上を通過してまた引き返しても構いません。但しゴールの通過は上からのみで下からの通過は無効となります。

※大回転競技では、スイッチバック（旗門を通過できなかった選手がコースを逆行（登高）して再度旗門を通過しようとする行為）は禁止とします。

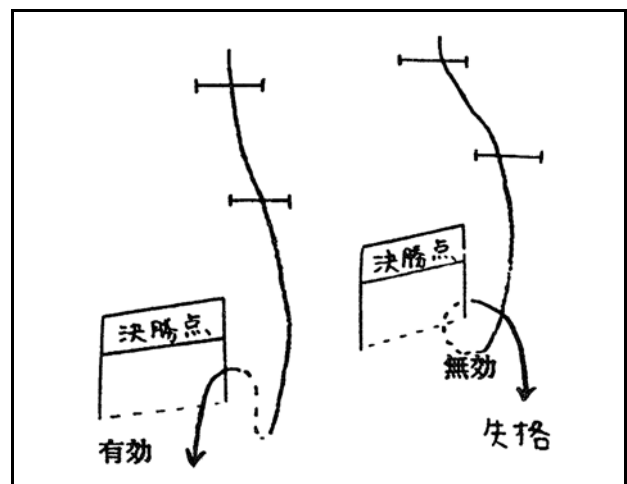


5. 正しく二本のスキーが通過することが原則ですが片方のスキーが外れても、両足首が通っていれば構いません。両方のスキーが外れているものは認められません。
6. 通過したかどうか不安な場合は、近くにいる旗門員に尋ねてください。このとき旗門員は「よし」または「戻れ」の言葉のみで返答して下さい。



7. 棄権（通称「トキ」といいDFと記録する）の意思表示はストックを上向きにして回したり、大声で「キケン」と叫ぶなどはっきりと判るように意思表示をして下さい。

8. 棄権またはコースアウトした選手は、ゴールラインを通過してはいけません。
9. 後発の選手に追いつかれた場合は、速やかにコースを空けて下さい。



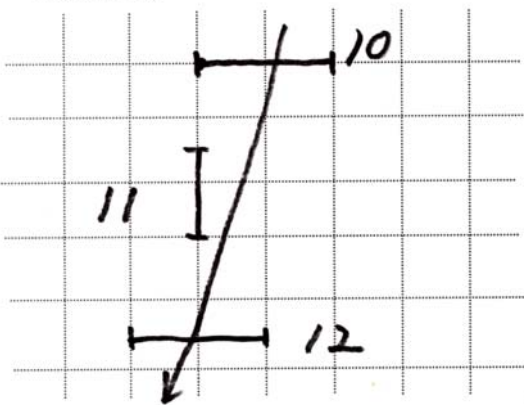

# 円滑な運営のために

## 〔旗門員の場合〕

1. 旗門員の誤りは、正しい競技者に大きな損害を与えますので、競技中は旗門員同志の会話、よそみ等軽率な行動はつつしんで下さい。
2. 誤って罰するよりも「疑わしきは罰せず」のほうが良い。  
旗門員は罰する限りは確信をもって、選手がどのような誤りを犯したか、論争の余地がないように、その状況を充分調査してから反則票を記入して下さい。また、そのことを協議終了前に他人に漏らしてはいけません。
3. 反則票の書き方。

全項目忘れずに記入して下さい。

1. 反則内容を図で示す。  
(旗門番号を忘れずに)
2. 旗門員の氏名
3. 日付
4. 回転、大回転の区別
5. 回転の場合、1本目、2本目の区別
6. ゼッケン番号

<h3 style="margin: 0;">失格記録表</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 種目 <b>GSL</b> or SL             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 ゼッケンNo : <b>999</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 5px;">                 略図を示す   </div>	<div style="text-align: center;">  <b>相模原市スキー協会</b>                  Ski Association of Sagamihara             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 日時:Date <b>*/*/</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 第 旗門 <b>1本目</b> or 2本目             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 失格説明(該当に○をする)             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①両足不通過</li> <li>2.片足(左・右)不通過</li> <li>3.スイッチバック不良</li> <li>4.第3者に援助を受けた</li> <li>5.競技中他の競技者を妨害した</li> <li>6.呼びかけでコースを譲らなかった</li> <li>7.第703-9(コース閉鎖と変更)に違反した</li> <li>8.その他</li> </ol> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 記録者:Signature <b>相模 太郎</b> </div>
---	---

4. 選手の質問に対する答え方。  
旗門員は選手のどんな質問に対しても、答え方は「よし」か「戻れ」のうちひとつです。「戻れ」は選手が失格になる時だけ使って下さい。
5. 選手が前走選手に追いつきそうな場合、旗門員は前走選手に声をかけてコースをあけさせて下さい。
6. 棄権（トキ）の伝達が下（ゴール）に届かないと、次の選手がスタートできませんので選手が棄権した場合、大きい声で伝達して下さい。
7. 旗門員は目印となるカップを着用して、すみやかに配置について下さい。1クラブでも揃わないと競技が開始できません。特に2日目の朝は遅れないようにして下さい。

**※以下は協会員（一般選手）にも協力をもとめて、コースを管理して下さい。**

8. コースに一般の人がはいると、事故、再スタート等運営面でのロスがありますので、一般の人が入らないよう充分注意して下さい。
9. 旗門員も選手として滑るので、自分のスタート順（点呼）に遅れないようにして下さい。なお、割り当てられた旗門は、各クラブで責任を持って管理して下さい。  
(必ずしも旗門役員でなくても構いません)
10. 予備ポール、予備フラッグを準備しておき、ポールが破損したり、旗がとれたらすぐ復旧して下さい。なおポールはコースとしてセットされたポールと見誤ることのないような位置に斜めに立てておいて下さい。

**※競技終了後の処置**

11. 大回転の旗門員は、フラッグだけはずして回収し、ポールは一般のスキーヤーの邪魔にならないように片付けて下さい。
12. カップ、プログラム、筆記用具等は2日目も使用しますのでそのまま持ち帰り、2日目に持参して下さい。
13. 回転競技終了後はフラッグをつけたまま、ポールを指定の場所まで降ろし、その場でフラッグをはずして回収します。

# 円滑な運営のために

## ノルディック

- 第310条 技術的定義 (Technique Definitions)**
- 第310-1 **クラシカル走法 (Classical Technique)**  
クラシカル走法に含まれるものとして、ダイアゴナル (交互滑走) ・推進滑走・滑走を伴わない開脚登行・滑降および回転等がある。  
全てのスケーティングは認められない。
- 第310-2 **フリー走法 (Free Technique)**  
フリー走法はクロスカントリー・スキー走法のあらゆるものが含まれる。
- 第340条 競技中の競技者 (Competitions during Competition)**
- 第340-1 競技者は標識に従ってコースを走り、全関門を正しい順序で通らねばならない。競技者は、マークを付けたスキーをつけ完走しなければならない。伴走者の助けを借りることは許されない。
- 第340-2 個人競技では、スキーポールを取り替えることはできるが、スキーは取り替えられない。リレー競技とノルディック・コンバインド競技で、競技者がジュリーに立証でき、スキーが折れたり、ビンディングが破損した場合にのみ、一方のスキーを取り替えられる。  
競技者は、他人の力を借りず自分のスキーにワックスを塗り替えることができる。ワックス、ブローランプ、削り器、食料、飲料は、他人からの提供を受けることができる。
- 第340-3 他の競技者に追い越される場合には、最初の要請の際にコースを譲らなければならない。  
☆クラシカル走法の競技大会では、コースにダブルシュプールがある場合でも、コースを譲らなければならない。ただし、フィニッシュ手前200mはその必要がない。  
☆フリー走法の競技大会では、競技者の動きが制限されている場合でも、コースを譲らなければならない。ただし、フィニッシュ手前200mは例外であり自分の選んだシュプールを譲る必要はない。
- 第340-4 競技者は競技役員の指示に従わなければならない。
- 第341条 スキーマーク (Marking of Skis)**
- 第341-1 競技者はスタート前、スキーにマークをつけなければならない。  
スタート番号を付けた競技者は、各自スキーにマークをつける場所へ行かななければならない。
- 第341-2 全日本選手権及び、WSC、OWG、WC競技大会では、標準のスキーマークの他に、各競技者のスタート番号をスキーにつけなければならない。  
(その種目の色が望ましい)